



ライブラリー

2026.5

《令和8年5月21日発行》

福崎町立図書館 図書館だより No.125

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790

<https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/library/>



初夏によみたい本

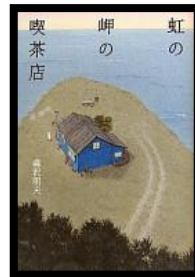
気が付けば春が終わり、そしていよいよ暑い夏が顔をだしはじめます。真夏になるまえの暑さの中にも爽やかさがあるそんな初夏に読んで欲しい本を集めました。



祇園祭宵山の夜に起こる不思議なお話がつまった連作短編集。妖しく妖艶な雰囲気で見聞ワールド全開です。

『宵山万華鏡』

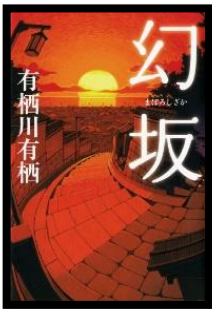
(森見登美彦 著 集英社 F/モリ)



岬にある一軒の喫茶店。そこでは店主の悦子さんの入れる珈琲と音楽でやさしい時間がながれます。心に傷を負った人々の癒しの喫茶店。行ってみたい。

『虹の岬の喫茶店』

(森沢明夫 著 幻冬舎 F/モリ)



大阪“天王寺七坂”を舞台にした怪談短篇集。怖いだけではなく、少し儂い気持ちになる話もあります。実在する場所なので行ってみるのもいいかも。

『幻坂』

(有栖川有栖 著 メディアファクトリー F/アリ)



読書の楽しさを知った大学生の主人公とSNSを通して知り合った女性とのピュアな恋愛小説。読書が楽しいと初めて知った時のことを思い出させてくれる一冊です。

『本読むふたり』

(菊池良 著 幻冬舎 F/キク)



図書館カレンダー

※行事・イベントは変更や中止になる可能性があります。

※ は休館日です。

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 えほんの じかん 11:00~	4 資料整理日	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 おはなし会 11:00~
21	22	23	24	25	26	27 子ども 映画会 14:00~
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 えほんの じかん 11:00~	2 資料整理日	3	4 たなばた会 10:00~
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18 おはなし会 11:00~
19	20	21	22	23	24	25 子ども 映画会 14:00~
26	27	28	29	30	31	



図書館からのお知らせ

たなばた会

日時 7月4日(土) 10:00~16:00

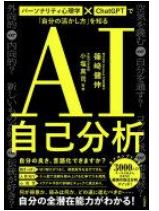
- ・七夕かざり
- ・フクちゃんサキちゃんをさがせ
(本探しゲーム 午前・午後)
- ・子ども映画会 メディアルーム
- ・おりがみ教室

※予約不要です。ぜひお越しください。



図書館員おすすめ本

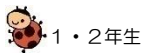
人の内面を丁寧に説明できるパーソナリティ心理学。これを使えば自分が気付いていない可能性を知ることができます。しかしパーソナリティ心理学は細かい分類や、複雑な計算をする必要があります、そこがネックになっていました。しかしその面倒で難しい部分をAIに任せることで手軽に自己分析ができます。まだ気付いていない自分をぜひ見つけてください。



『AI 自己分析』

(篠崎健伸 著 大和書房 141.9/シ)

こどものほん



1・2年生



3・4年生



5・6年生

おかあさんがテーマの本



『ぼくおかあさんのこと...』(酒井駒子 文)



おかあさんがだいすきなぼく、でもだいきらいなときもある。いちばんきらいなのはぼくとはけっこんできないっていうから。みんなはおかあさんのことだいすきなかな？



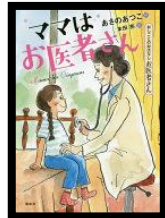
『おかあちゃんにきんメダル!』(いどきえり さく)



ぼくのおかあちゃんの右手は動かない。最近ぼくはおかあちゃんと一緒にいるのが少しはずかしいと思ってしまう。もやもやした気持ちでいると、反達のよしおとうちでおやつを食べることになって...



『ママはお医者さん』(あさのあつこ 作)



美生のママは村唯一のお医者さんです。朝から晩まで患者さんの病気やケガを着ていて忙しくしています。美生もそんなママをすごいと思っていますが、でも時々自分だけのママでいてほしくて...。お医者さんの仕事がよく分かる本です。



『日本史の13人の怖いお母さん』(眞山知幸 著)

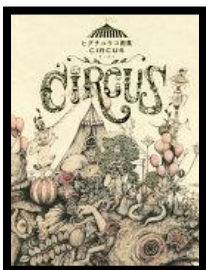


みんな自分のお母さんが一番怖いと思っていないか？いえいえ上には上がいます。歴史上にはたくさん怖いお母さんが登場します。でもなぜ怖いか、怖くなければいけなかったのか。怖いお母さんに注目した歴史本です。

ヒグチユウコ

ほんだな

画家・絵本作家・ブランドとのコラボレーションなど幅広く活動しているヒグチユウコさんを知っていますか？きっと絵を見たら分かると思います。猫の絵が多く、ちょっと“変”な生き物もよく描かれています。『CIRCUS』という画集には可愛いもの、不気味なもの、不思議なものなどたくさんの作品が載っています。絵本などもあるのでぜひヒグチユウコさんの不思議な世界を体験してみてください。



『CIRCUS』

(ヒグチユウコ 著 グラフィック社 726.5/ヒ)



YA図書おすすめ本

2020年に「うっせえわ」で電撃デビューしたAdoの半生を綴った小説「ビバリウム」。Ado自身が体験し、感じたこと、今までの思いなど赤裸々に描かれています。順風満帆に生きてきたわけではなく、悩みも葛藤もある10代を歩んできて今のAdoがいます。今が辛くてどうしようもない10代の人達なら特に共感できる部分が多いと思います。もちろん10代、20代がだいぶ昔の私達の世代にもぐっとくるものがあります。ぜひ読んでみてください。



『ビバリウム』

(小松成美 著 KADOKAWA F/コマ)